

第 1 回福知山市新文化ホールについて考える市民懇談会 開催結果報告

【日時】 令和 6 年 1 0 月 2 2 日(火)
1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0

【場所】 福知山市厚生会館 大ホール

第1回市民懇談会は、合計43名の方にご参加いただきました

市民懇談会の対象者及び参加者構成

■市民懇談会対象者構成

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
女		11	9	14	9	12	7	62
男	1	5	7	13	10	25	20	81
総計	1	16	16	27	19	37	27	143

■10月22日第1回市民懇談会参加者構成

項目	30代	40代	50代	60代	70代	総計
女	4	7	4	4	2	21
男	2	1	4	10	5	22
総計	6	8	8	14	7	43

市民懇談会の実施手法

■マンダラート※を使用し、ワークショップ形式で市民より意見を収集（資料2）

※アイデアを整理したり広げたり目標達成等に向けたフレームワークとして活用できる手法

整備（規模・立地・設備など）・運営に関する意見【1/2】

今後はこの結果を踏まえ、再検討を進めていく必要があります

No	分類	市民懇談会で出された意見（重複意見は削除）	再検討のポイント
①	整備・運営全体に関する考え方	作るときは地域社会を軸に、子どもや市民が活躍されるできる場、ワクワクするような施設、地域の文化活動を活性化して欲しい、未永く愛されるホールにしてほしい、福知山のシンボルとなる様、素晴らしいものをつくるべき、ホール単体で、魅力のある施設を作るべき。（芸術性・話題性等）、音楽関係、演劇などにしぼって大ホールを使うのがいい、有名人やアイドルが来てくれるようなホール、市に止まらない広域な集客企画、複合的な利用できればいい、作っても人が利用しなかったら意味がない	
②	ホール関連	音響設備、防音設備、照明設備、常設楽器（exピアノ）、ピアノ近くで観れる客席、広いステージ、大スクリーン、フレキシブルな舞台、フレキシブルな舞台パーテーション、固定椅子が利用しやすい、階段式の座席	
	機能（施設・設備） その他諸室・設備	練習場所の確保、フリーでくつろげる場所、イベント以外でも寄れるような設備、複合設備あり儲かるホール、プレイガイドスペース、大小の部屋の設置、託児があると嬉しい、ベビーカーでも来やすい、バリアフリー、水害への対応の懸念、自家発電	
	外観	いって写真に納めたくなるような外装内装、斬新な外観	
③	規模	多くの座席数、広い客席、2000名の席、1000席以上の客席、なるべく1000人規模のホール（プロ）、500人以下（アマチュア）、人数は600人で十分だと思う、他の建物の上手な活用	
④	立地等	交通を使って行けるところ、駅からのアクセス、良い立地、場所（もっと広いところ）	
	駐車場	駐車場の確保、駐車場と人の足を併用、バス・タクシー・自家用車の受け入れ、福知山駅から循環バス、いきも帰りも渋滞にならない工夫	

整備（規模・立地・設備など）・運営に関する意見【2/2】

今後はこの結果を踏まえ、再検討を進めていく必要があります

No	分類	市民懇談会で出された意見（重複意見は削除）	再検討のポイント
⑤	運営体制・方法	計画立案する組織、スタッフ、セキュリティ対策、やってほしいリクエストを聞いて欲しい 利用料金：情報発信：	
	運営	利用料金 手軽な価格（市の主催など）、一人当たりの入場料が減る	
	集客・情報発信	集客方法、利用者へのPR、市報、文化ホール配信、配信周知、図書館や公的物件に予定貼り出し、お得情報、SNS、近隣のクリエイターへの周知、周知と募集併設施設：スタバ的なカフェ、レストラン、ホテル	
⑥	整備・運営の収支	予算等 なるべくコストを抑えて欲しい、収益が上がらないイベントはダメ、巨額の資金を使用し建設する価値、収益があがらなければ大きな箱物を作っても意味がない、予算は計画的に使って欲しい、赤字の福知山市なので慎重に	
	財源等	クラウドファンディングで資金集め家賃収入、中小に出資してもらう、民間企業をスポンサーに入れてほしい	
⑦	その他	他市に立派なホールがあり福知山独自にやっても集客できるか疑問、そもそも新文化ホールが必要か、中丹全体で大きな文化ホールを建てるなど他にも方法はあるのでは、 再検討委員会のメンバーに若者・素人を入れて欲しい、他の文化ホールの悩みを聞いて進めた方が良い	

他都市ホール事例

- 京都府中丹文化会館
- 舞鶴市総合文化会館
- 朝来市文化会館「ジュピターホール」
- まつもと市民芸術館
- 小美玉市四季文化館「みの〜れ」

中丹地域における地域社会の活性化・発展を目指して文化芸術フェスティバルや交流フェスタなどが定期的に行われています

京都府中丹文化会館



市町村名	京都府、綾部市
市民人口	3.1万人
開館年	1983年5月6日
席数	1000席
施設整備 (ハード施策)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ホール ➢ 楽屋4室 ➢ 楽屋事務室 ➢ 練習室3室 ➢ 浴室2室 ➢ ホワイエ兼展示コーナー ✓ 演場ロビー・コーヒーコーナー・主催者室

管理・運営
(ソフト施策)

- 中丹文化芸術祭
 - ✓ 市町のエリアを超えた中丹地域を対象に、アマチュアを中心とした各種の文化芸術フェスティバルを継続的に開催することにより、地域における創造的な文化活動と豊かな地域社会の発展を目指すことを目的としている
- 中丹文化交流フェスタ
 - ✓ 中丹地域の文化を担う次世代等の育成及び文化芸術の新たな参加者の拡大を図り、地域の活性化を目指す事業
- 友の会
 - ✓ 京都府中丹文化会館を拠点に、中丹地域の文化創造・振興の場として、文化・芸術を愛し、創造する人々の豊かな「コミュニティ・プラザ」づくりを目標にしている
 - ✓ 毎月の催し案内
 - ✓ 優待 (3%~8%)
 - ✓ 中丹映画大好き劇場を1000円で利用 (一般1500円)
 - ✓ 指定席チケットの優先予約



出所 [第38回中丹文化芸術祭 京都府中丹文化会館](#)

他施設に比べて楽屋の数が充実しており、著名な団体のイベントも多く開催されています

舞鶴市総合文化会館



市町村名	京都府、舞鶴市
市民人口	7.8万人
開館年	1983年11月1日
席数	大1508席、小350席
整備のコンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 約10年前から舞台照明や音響、オーケストラピットなどの改修を行ってきたが、施設の老朽化も目立ってきた中で、耐震化やバリアフリー化、省エネ化などへの対応をするため10年間の改修計画を策定した 1階客席をゆったりとしたスペースにするため全席を取り替える

施設整備 (ハード施策)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大ホール(1508席) ➤ 小ホール(350席) ➤ 楽屋4、楽屋和室2 ➤ 主催者室、練習室 ➤ 会議室 (35名) ➤ 研修室1,2 (24名) ➤ 和室 ➤ 展示会2室
管理・運営 (ソフト施策)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ チケットの受託販売を募集 ➤ 友の会 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 入場券の割引販売 ✓ 入場券の先行販売 ✓ 情報サービス ✓ 陶芸館利用料の割引



ホールは音楽を主目的とし、音響効果にこだわった本格的な公演が開催されています

朝来市文化会館 朝来市和田山ジュピターホール「和田山ジュピターホール」



市町村名	兵庫県、朝来市
市民人口	2.7万人
開館年	1992年4月25日
席数	大800席、小200席
整備のコンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 朝来市直営3ホールのリーダー館であり、地域の文化・芸術事業を支援する中心的な文化会館 大ホールは、音楽を主目的とし、ワンスロープ800席の客席空間と、クラシック音楽に適した残響時間2.0秒の音響効果を備え、オーケストラやプロアーティストのコンサートなど本格的な公演が開催される

施設整備 (ハード施策)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大ホール (800席) ➤ 小ホール (200席) ➤ 楽屋1、2 (1人) ➤ ユニットバス、トイレ、打合用テーブル等完備 ➤ 楽屋3 (1~10人) ➤ 会議室 (20人) ➤ 研修室 (40人) ➤ 和室 (12畳2) ➤ ホワイエ
管理・運営 (ソフト施策)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 子育て支援ルーム (ジュピターホールの自主事業のみ) <ul style="list-style-type: none"> ✓ 和田山ジュピターホールでは、「コンサートには行きたいけれど、子どもがいるのでなかなか行けない。」というお客様のご要望にお応えして、子育て支援ルーム (お子さまの一時保育) を開設している ✓ 保育資格を持ったスタッフが、対応する



ボランティアスタッフが、市民芸術館での公演・運営を年間を通して自主的にサポートを行い、松本の文化芸術の発展と活力あるまちづくりに貢献しています

まつもと市民芸術館



市町村名	長野県、松本市
市民人口	23.9万人
開館年	2004年8月29日
席数	大1800席、小288席
整備のコンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 高度な舞台芸術に対応する機能を持つとともに、コンベンション利用など、多様な要望にも応えることができる 松本の芸術拠点として、さまざまな舞台芸術の鑑賞機会を提供するとともに、市民の活発な芸術文化活動を支援し、多彩な交流、文化の潤いを広げる

施設整備 (ハード施策)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大ホール (1800席) ➤ 小ホール (288席) ➤ 実験劇場 (360席) ➤ オープンスタジオ ➤ スタジオ2、3、4 ➤ 会議室、トップガーデン、シアターパーク
管理・運営 (ソフト施策)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ まつもと市民芸術館ボランティアの会 <ul style="list-style-type: none"> ✓ まつもと市民芸術館の待機列整理・場内案内・クローカー荷物預かり・チケットもぎり・パンフレット配布・オペラグラス貸出・グッズ販売・客席案内・ドア開閉・場内監視・チケット集計・アンケート回収など、劇場フロントスタッフの仕事がメイン ✓ 参加されている方は、会社員、主婦、自営業等、いろいろな方からご参加いただいております、年齢も20～70歳代と幅広い構成となっている ➤ “ひらいていく”劇場を目指して、3人体制の芸術監督団が事業計画を策定している



住民のための住民による文化活動を実践していくために、HPの「みの～れの概要」には自主事業がメインでPRされているなど、住民が参画しやすい体制が整えられています

小美玉市四季文化館「みの～れ」



市町村名	茨城県、小美玉市
市民人口	4.8万人
開館年	2002年11月3日
席数	大600席、小200～250席
整備のコンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 美野里町四季文化館(みの～れ)は、住民と行政、企業のパートナーシップによる協同作業という、これからの町づくりには不可欠な姿勢を重視し、住民参加による文化拠点創造のさきがけとして設置された これまでの施設とは異なり、くらしや文化の拠点となるべく、また、子どもたちの未来を育む創造拠点として、「住民のための、住民による文化活動」を実践していく場をめざしていく

施設整備 (ハード施策)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 森のホール (600席) ➢ 風のホール (200～250席) ➢ 練習室1 (20人) 練習室2 (15人) ➢ 練習室3 (5人) ➢ 和室 (15人)
管理・運営 (ソフト施策)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ HPに自主事業のスケジュールとラインナップを掲載している ➢ みの～れパートナーズ <ul style="list-style-type: none"> ✓ “みの～れ愛”あふれるボランティア組織＝「みの～れ支援隊(4部門6組織)」 ✓ 企画から実行まで遂行するプロジェクトチーム＝「各種実行委員会(6チーム)」 ➢ 四季文化館企画実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 公募市民10名で構成し、みの～れ自主事業の選定を行う ✓ 支援組織の実情を把握し、助言や組織同士のマッチングなど幅広い機能も果たしている



森のホール



風のホール



練習室1

出所:[四季文化館みの～れ 公式ホームページ](#)